

(2) 風力発電施設の視認可能性がある展望地の抽出

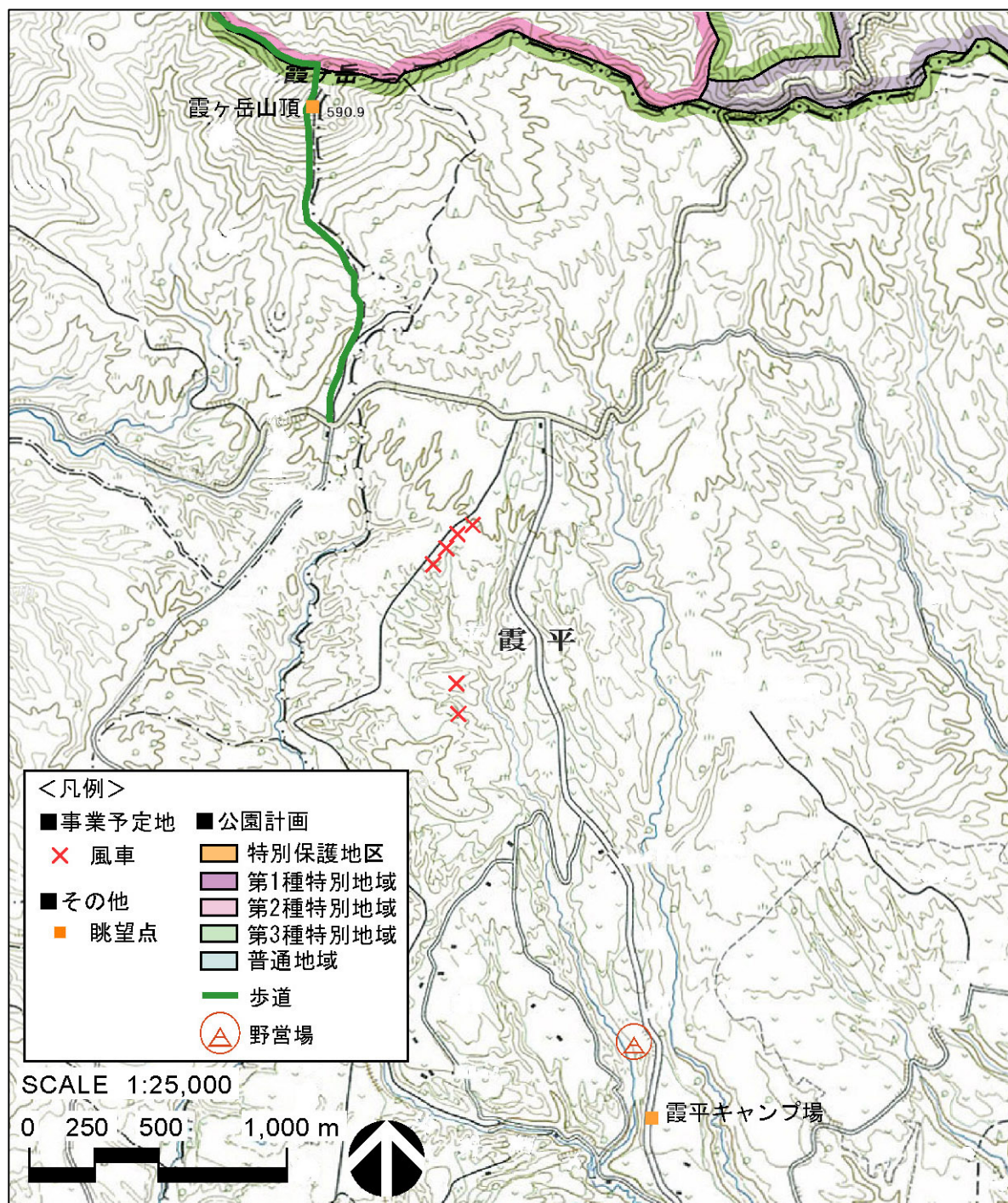
解 説

- ・第1段階で決定した位置を踏まえ、風車の規模・基数・配置を設定し、下記のとおり概略事業計画(案)を立案した。

《ケース①》

■概略事業計画

発電出力	2,000kw	ハブ高	80m	ロータ径	80m	ロータ天端高	120m	基数	6基
------	---------	-----	-----	------	-----	--------	------	----	----



作業解説

- ・ケース①の概略事業計画(案)について、現地調査にて撮影した現況写真や地図等を用いて、主要な展望地からの視認可能性を確認した。
- ・結果、風力発電施設の視認性がある展望地として、「①霞平」及び「②霞ヶ岳」が抽出された。

作業結果

表 主要な展望地からの視認可能性の確認結果

主要な展望地	現況写真	確認結果		風力発電施設の視認可能性
		①眺望範囲への介在	②地形等による遮蔽	
①霞平	 距離：2,475m 垂直見込み角：2.8° ●の位置に出現し、霞ヶ岳への主眺望方向、ランドマークである霞ヶ岳に介在し、霞ヶ岳から連続するスカイラインを切断する	介在する	遮蔽されない	あり
②霞ヶ岳	 距離：2,475m 垂直見込み角：2.8° ●の位置に出現し、霞平高原への主眺望方向□、眺望対象である霞平高原に介在する	介在する	遮蔽されない	あり
③永田岳	 距離：5,940m 垂直見込み角：1.2° ○の樹木により遮蔽される	介在する	遮蔽される	なし

(3)視認可能性がある展望地の眺望特性の把握

作業解説

- ・視認可能性がある展望地として抽出された「①霞平」及び「②霞ヶ岳」について、現地調査及び資料調査を行い、風車が出現する方向を中心に眺望特性を把握した。

作業結果

- ・把握した「①霞平」及び「②霞ヶ岳（南側）」における眺望特性を、次のように取りまとめた。

眺望特性の把握結果		No.	①	名称	霞平	位置	—	概況	本国立公園の広大な霞平の高原牧野を通過する見通しの良い道路上に位置する。	
公園計画における計画目標			霞ヶ岳や牧野等の風景観賞及び散策のための野営場として整備する。							
管理計画における保全方針			霞平の広大な牧野景観及び霞ヶ岳方向の展望を確保するとともに、周辺自然環境との調和を図るものとする。							
地区の観光案内等における記載			—							
眺望利用の状況	利用者数	野営場利用者は年間 2,000 人。道路通過型の利用については、国立公園利用上の幹線ルートからはずれており、観光車両の通行はそれほど多くない。							視点場の現況写真	—
	利用者属性	個人観光客								
	利用形態	野営場周辺の散策、道路通行者の通過型風景探勝								
	施設整備状況	野営場、駐車場、トイレ								
眺望地点と眺望対象位置図			＜凡例＞ ■眺望地点 ★位置 眺望範囲 主たる眺望方向 ■眺望対象 稜線 山稜 その他眺望対象 ■公園計画 特別保護地区 第1種特別地域 第2種特別地域 第3種特別地域 普通地域							